

2026年2月13日

松田社長が記者会見
『ミヤネ屋』今年で20年 「金字塔を打ち立てた宮根さんに感謝」
timelesz MCの番組 FYCSで連携し2月末に放送

2月12日の記者会見で代表取締役社長 松田陽三が記者からの質問に対し回答した内容の要旨は以下の通りです。

■『情報ライブ ミヤネ屋』について

『ミヤネ屋』は今年7月末で番組開始から20年を迎える。宮根誠司さんには、『ミヤネ屋』のMCとして、20年という長きにわたり番組を支えていただいており、心から感謝している。

報道情報番組で20年続けるのは簡単なことではない。世の中の出来事について感性を研ぎ澄ましてウォッチし、どんなニュースにも対応できるように準備しておかなければならない。体調管理、精神面、緊張感の持続、集中力の維持は予想を超えるご負担があったと推察する。視聴率トップを維持するのも並大抵のことではない。金字塔を打ち立てた宮根さんに感謝するとともに尊敬している。

平日午後の時間帯に関西発で全国ネットの報道情報番組を定着させたのは宮根さんや出演者の皆様、番組スタッフの力、そして、番組を愛していただいている視聴者の皆様のおかげであり、深く感謝している。

『ミヤネ屋』は、今年の秋をもって終了するが、半年余り先のことであり、宮根さんにはラストパートをお願いしている。

■^{フィックス}読売中京FSホールディングス株式会社(FYCSHD)について

昨年4月に福岡放送、読売テレビ、中京テレビ、札幌テレビによる認定放送持株会社FYCSHDが設立され、シナジー効果を上げる様々なプロジェクトが進行している。

共同番組制作では、timeleszがMCを務め、昨年6月に放送し好評だった特番の第二弾『^{うんなしびと}運無人～タイムレスがハッピーを届けます～』を2月28日に放送する。FYCS4局が連携し、人気グループのキャスティングもできている。

また、1月31日と2月1日には、神戸で開催されたバレーボールの国内トップリーグ、SVリーグのオールスターゲームを4局で放送した。一つの競技団体と組み、試合の中継やイベントの共催をするのは初めてだ。バレーボールの人気は高まっており、今後発展するポテンシャルの高いスポーツだと考えている。

また、『ベストヒット歌謡祭』などの番組制作にFYCS各局から参加し経験を積むなど、様々な取り組みを行った。

コーポレート関連では、採用活動の企業説明会や新入社員研修を4局合同で実施したほか、アナウンサーや技術担当者の研修等も順次進めている。

■大阪・関西万博について

シグネチャーパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」での360°シアター映像制作への参画、音楽番組「Daiwa House special 音道楽 EXPO」や「Iwatani スペシャル 鳥人間コンテスト展」の開催などを行った。また、日々の報道にも力を入れた。ブルーインパルスの飛行時には多くのカメラクルーを配置して撮影したほか、生配信を行い、大勢の視聴者にご覧いただいた。当社の様々な取り組みは、万博の成功に寄与したのではないかな。

■今期の業績について

第3四半期の決算は増収増益となった。放送収入が堅調なことに加え、アニメに関連するコンテンツ収入が順調に推移している。劇場版コナンからの収入や、アニメの海外での販売等が安定した収益源になりつつある。